

宇部市健康づくりパートナー 活動実績

2019/6/9

◆団体部門（実施要領第3条第1項）

台帳 番号	団体名	内容	確認時期
1	iikoto (いいこと) メイト	<p>平成22年12月 ご近所福祉活動推進事業（現ご近所福祉サロン推進事業）受託、継続中</p> <p>子どもから高齢者まで誰もが気軽に集える場所として、個人の住宅を提供しており、毎月20日程度の活動を実施。専門職の指導による体操やスクエアステップなど介護予防を目的とした活動や絵手紙作成など生きがい、仲間づくりを目的とした活動、七夕の飾り付けといった子ども主体のイベントまで幅広い内容を提供している。</p> <p>平成27年度から市が実施する認知症予防プログラムを受託し、パズル制作や旅行記作成を通して認知症予防を実践している。</p> <p>厚生労働省が実施する第5回『健康寿命をのばそう！アワード※』（平成28年11月14日表彰式）において、介護予防・高齢者生活支援分野の団体部門で優良賞を受賞。（※「健康寿命」の延伸に資する優れた取組を表彰する制度）</p>	平成28年11月
2	川上校区コミュニ ティ推進協議会	<p>校区住民の主体的な健康づくりを推進するため、歯と口腔に関する座学や体験学習に取り組んでいる。また、学習に参加できない住民に対しては、校区だより等により、その内容を広く周知している。</p> <p>平成27年度は、食生活や歯の健康と身体の健康との関わり、歯のブラッシングなどを学習。</p> <p>平成28年度は、口腔ケアの重要性の更なる学習とともに、生活習慣病と歯周病の関係性について、内科や歯科の両面からも学習。</p>	平成29年6月
3	宇部市立 東岐波小学校	<p>虫歯予防には、規則正しい食生活や適切な歯磨きなど、好ましい生活習慣の形成が大切であり、学校では定期健康診断による早期治療の指導やブラッシング指導を実施するなど、虫歯予防に取り組んでいる。</p> <p>むし歯の指標である「平成28年度宇部市小学校別1人平均DMF歯数」の数値が、市内の小学校24校の中で最も低い。</p> <p>歯と口の健康週間に伴う作品等の応募にも積極的に取り組んでいる。</p>	平成29年6月
4	慶進中学校	<p>虫歯予防には、規則正しい食生活や適切な歯磨きなど、好ましい生活習慣の形成が大切であり、学校では定期健康診断による早期治療の指導やブラッシング指導、また、給食後の口のすすぎや歯磨きを実施するなど、虫歯予防に取り組んでいる。</p> <p>むし歯の指標である「平成28年度宇部市中学校別1人平均DMF歯数」の数値が、市内の中学校14校の中で最も低い。（平成29年度も上記数値が、市内の中学校14校の中で最も低い。）</p> <p>心の教育の一環として、介護施設でのボランティア活動にも参加し、人を思う気持ちを育てている。</p>	平成29年6月
5	厚南小学校 学校運営協議会	<p>「学力アップ」、「豊かな心アップ」、「元気力アップ」、「安心安全アップ」の4つの委員会に分かれて、保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていけるよう、アイデアを出し合っている。</p> <p>「元気力アップ」では、食育推進の活動をしており、校内で実施したアンケート結果をもとに、朝食欠食を課題とし、平成28年度から「我が家の簡単★朝食コンテスト」に取り組んでいる。</p> <p>【我が家の簡単★朝食コンテスト】</p> <ol style="list-style-type: none"> 夏休みを利用して、小・中学生が朝食メニューを考えてレシピを作成、応募。 学校運営協議会で審査 ⇒ 表彰 受賞作品は、家庭教育学級で調理し試食、朝食レシピ集（リーフレット）を作成し学校内外に周知。 全レシピをファイリングし、受賞作品のパネルとともに小学校玄関に設置、来校者にも関心を持ってもらえるよう働きかける。 <p>厚南市民センター地域・保健福祉支援チームとの連携により、パネル等をJA新鮮館にも一定期間設置することで、地域住民へ広く紹介することができ、地元企業とのつながりもできた（平成28年度）。その縁から、平成29年度のコンテストでは、JA新鮮館とコラボした山口県産食材部門の創設、宇部市の取り組みとコラボしたへらしお部門、エコ部門の創設につながっている。</p> <p>これらの先駆的な取り組みは、次年度はもっと部門を増やしたい、地域住民からの応募を増やしていきたいなど、地域を巻き込んだ食育活動へ広がりを見せている。</p>	平成29年10月
6	宇部市立 常盤小学校	<p>平成27年度より、児童自身が生活リズム等の振り返り、改善ができることを目的に実施している“生活リズムがんばりカード”に「ていねいに歯みがきをする」を追加し、取り組んでいる。</p> <p>さらに平成29年度の学校保健委員会の取組みの一つとして、「はみがきの歌」を作成。「となりのトトロ」の“さんぽ”のメロディーを引用し、歌詞は学校保健委員会の児童と養護教諭で作成し給食時間に校内放送で流し、虫歯予防の啓発に努めている。</p> <p>むし歯の指標である「平成29年度宇部市小学校別1人平均DMF歯数」の数値が、市内の小学校24校の中で最も低い。</p> <p>歯と口の健康週間に伴う作品等の応募にも積極的に取り組んでいる。</p>	平成30年6月

宇部市健康づくりパートナー 活動実績

2019/6/9

◆団体部門（実施要領第3条第1項）

台帳番号	団体名	内容	確認時期
7	宇部市母子保健推進協議会	<p>宇部市長から委嘱を受け、きめ細やかな母子保健の推進のために、地域での身近な相談役としての活動に取り組んでいる。</p> <p>乳幼児期からの歯科口腔保健を含む健康づくりを推進するため、育児サークル等の活動の中で、幼い頃からの継続した歯科口腔の健康保持の大切さ、よく噛むこと、虫歯の予防、歯磨き等の習慣付けに関する啓発活動を実施している。</p> <p>平成29年度は、歯の健康と身体の健康との関わりや歯のブラッシングなど歯科衛生士を講師に招いて学習。この学習を契機に、口腔の健康を自らの健康問題として捉え、歯の模型（手作りの媒体）を作成し、イベント内や各校区の母子保健推進員主催の育児サークルの中で模型を使用し、歯と口腔に関する自主的な啓発活動を活発に実施しており、母子歯科保健の啓発、普及に積極的に努めている。</p> <p>これらの取り組みが評価され、平成29年度「健やか親子21国民運動－8020の里賞（ロツテ賞）」優秀賞を受賞。</p>	平成30年6月
8	宇部市立見初小学校	<p>本校では、地区担当保健師が作成した地域カルテをもとに、児童の健康課題（むし歯の保有率が高い）について共有し、児童には、保健師などの外部講師によるむし歯予防やブラッシング指導などの健康教育を実施している。また、保護者に対しては、就学時健診で、保健師が間食の摂取方法や仕上げ磨きに関する健康教育を行い、むし歯予防に取り組んでいる。</p> <p>むし歯の指標である「平成30年度宇部市小学校別1人平均DMF歯数」の数値が、市内の小中学校24校の中で最も低いことは、児童の歯に関する健康づくりの顕著な取り組みの成果と言える。</p>	令和元年6月
9	宇部市立黒石中学校	<p>むし歯予防には、規則正しい食生活や適切な歯磨きなど、好ましい生活習慣の形成が大切であり、学校では定期健康診断による早期治療の指導やブラッシング指導を実施するなど、むし歯予防に取り組んでいる。特に、毎年10～11月は、1日1回以上汚れを落とし切ることを目標に、1回8分以上の歯磨きを励行しており、生徒一人一人のむし歯予防に対する意識が高まっている。</p> <p>むし歯の指標である「平成30年度宇部市中学校別1人平均DMF歯数」の数値が、市内の中中学校14校の中で最も低いことは、生徒の歯に関する健康づくりの顕著な取り組みの成果と言える。</p>	令和元年6月
10	鵜の島校区コミュニティ推進協議会	<p>鵜の島校区の健康課題として、3歳児健診受診者や小・中学生で虫歯の保有率が高いことが上がっている。子どもの歯科保健については学校や地域でも実施しているところであったが、地域全体で歯科保健に取り組んでいくために平成30年度は、健康づくりアカデミーの場を活用しながら、地域住民が主体となって多世代を対象に、まず歯の実態調査を行った。</p> <p>その結果、お口に関する正しい知識の普及と実体験を通じた指導が必要ではないかと方向性を定め、校区の行事に歯の健康づくりをテーマとしたものを組み込んだり、歯科講座を開催したりした。歯科講座では、歯科医師や歯科衛生士から専門的な歯磨き指導を実施。一人一人の意識が上がってきている。</p> <p>今後も、校区のイベントや小学校での啓発を地域で継続したいという目標ができたため、今後6年間で、歯の実態調査や健康講座を行いながら歯への健康意識を高められる環境づくりをしていきたい。そして、将来的には、地域の大人の行動が変化することで子どものむし歯が減ることを目指していきたいと考えている。</p>	令和元年6月